



令和7年度協働のまちづくりフォーラムを開催しました！！

令和8年3月15日（日）、奥州市役所江刺総合支所にて「令和7年度協働のまちづくりフォーラム」を開催しました！！当日は、約70名が参加・来場。事例発表やパネルディスカッションを通して、持続可能で魅力ある地域づくりに向けて「協働」の手法の重要性について理解を深めました。また、市の地域づくりリーダー養成講座「協働のまちづくりアカデミー」の修了式も実施！今年度は、7名の受講生がカリキュラムを修了しました。

Topic 01

多種多様な立場から参加！！

地域の課題解決や賑わい創出に向けた事例紹介

フォーラムでは、高校生・企業・地域おこし協力隊など、多種多様な立場から地域課題解決や賑わい創出に取り組んだ事例紹介を3者からいただきました。

まちづくりに携わる主体は、NPOや地区振興会のみならず、その年代も様々。多種多様な人・主体が、安心して住み続けられる、そして、これからも住み続けたいと思う魅力ある奥州市を創り出すために、精力的に活動していることを事例紹介をとおして、PRいただきました。



（特非）YOUTH SDGs SIP会長の小野寺悠良さんと理事長の佐々木隆太さん。「高校生だからこそ！」という熱い想いを胸に、企業と連携した商品開発やイベント開催の事例を紹介いただきました。



（株）松田商事代表取締役の黒沢真紀さん。「協働のまちづくりアカデミー」受講をきっかけに、企業の立場からどのようにまちづくりに携わることができるのかについてお話をいただきました。



奥州市地域おこし協力隊の高橋有紀さん。就農に向けた活動の傍ら、農家のリアルを発信する情報誌「TAMBO（たんぼ）」の制作や写真展の開催、田んぼを中心とした居場所づくりの活動を紹介いただきました。

Topic 02

「垣根を超えた連携」による地域づくりを進めるには？事例発表者らによるパネルディスカッション！



フォーラム後段では、（特非）いわて地域づくり支援センター代表理事の広田純一さんをコーディネーターにお迎えし、パネルディスカッションを行いました。

事例発表を行った3者がパネラーとして登壇し、どのようにすれば所属組織や立場等を超えた「垣根を超えた連携」を推進できるかについて議論しました。登壇者らは「各主体が考えていることや目線をすり合わせる作業が大事」等、経験談を踏まえ発言。

来場者は和気あいあいと進む議論に時折笑顔を覗かせながらも、真剣な面持ちで耳を傾けていました。



Topic 04

新たに7名が修了生に仲間入り奥州市協働のまちづくりアカデミー修了式

フォーラム後には、奥州市協働のまちづくりアカデミー修了式を実施。



7名の受講生がカリキュラムを修了し、奥州市副市長の小野寺隆夫より修了証書が手渡されました。

また、1年間カリキュラムの講師を担当した広田さんからは、受講生に労いの言葉がかけられました。

Topic 03

1年間の活動成果を報告

奥州市協働のまちづくりアカデミー受講生

「奥州市協働のまちづくりアカデミー」は、今年度、7名の受講生が座学や企画の実践をとおして、まちづくりの知識やスキルを学びました。受講生は「奥州・はんと」と題して、親子で楽しむ体験型のイベントを企画。市の郷土料理はっつくりやニュースポーツ体験で親子の絆を育み、参加者同士の交流促進を目指した過程とその結果を報告しました。



令和8年度奥州市市民提案型 協働支援事業を募集します

市では、地域課題の解決に向けて、市民公益活動団体が実施する事業に対し補助金を交付します。

制度の詳細や提出書類については、市ホームページまたは地域づくり推進課までお問合せください。

コース紹介

コース	チャレンジコース	ステップアップコース	コラボレーションコース
特徴	「まずはやってみよう!」という、団体の新たな活動を後押しします。	既存の活動等の活性化を後押しします。	他団体と連携して、新しい活動を生み出すことを後押しします。
金額	5万円	30万円	30万円
補助率	10/10以内	2/3以内	3/4以内
上限回数	2回	3回	3回

提案受付期間

令和8年4月1日(水)
～
令和8年4月24日(金)

書類提出先

〒023-1192
奥州市江刺大通り1番8号
奥州市役所江刺総合支所1階
協働まちづくり部地域づくり推進課の
窓口まで(メール提出も可)

問い合わせ先

奥州市協働まちづくり部地域づくり推進課

☎: 34-1618(直通) : chiikidukuri@city.oshu.iwate.jp

詳細は
こちらから!

